空港温泉「空の湯」着工

芝山、12月初旬オープン

成田空港近くの芝山町香山新田で11日、ビルメンテナンス会社「三栄メンテナンス」（本社同町香山新田、萩原康宏社長）が掘り当てた温泉を活用した温浴施設の地鎮祭が行われた。同社が命名した源泉は「成田空港温泉空の湯」で、2020年の東京五輪・パラリンピックに向け、本年12月初旬に開業する予定。

同施設は、空港南側で2本の滑走路の飛行ルートに挟まれた一角に建設される。地下約千㍍からくみ上げた源泉の泉温は約29度で、湧出量は毎分約270㍑。冷え性や関節症、神経痛などに効能があるとされる。

同社では、地元住民に憩いの場を提供するだけでなく、空港に近接した立地を生かし空港従業員の憩いの場、乗り継ぎ客や早朝便利用者などへの仮眠場所の提供、さらに地元観光の拠点の提供を目指して同施設を整備する。

計画では、3階建てで延べ床面積約3900平方㍍。敷地面積は約1万3千平方㍍で、駐車場は約300台。露天風呂（天然源泉かけ流し）、露天展望風呂、寝ころび湯、つぼ湯、サウナ、岩盤浴などのほか、カプセルホテル風キャビン（127床）、仮眠室、レストラン（139席）、マッサージ、フィットネスジムなどを備える。

芝山鉄道芝山千代田駅から徒歩約3分で、シャトルバスを運行させ、約5分で成田空港第2ターミナル間を結ぶ予定という。

この日は、萩原社長はじめナリコーの加瀬敏雄社長、アクアジャパン東京の土岐雄二代表取締役がくわ入れ。萩原社長は「地元の人に喜んでもらえる＋空港がなくてはならない＝空の湯だ。開業してこの地区が発展するまで、この空の湯が最初の一石となるよう頑張っていきたい」と決意。

芝山町の相川勝重町長は「物流施設はあるが集客施設は初めてなので、期待は大きい。コンセプトも素晴らしく、できる限り応援していきたい」と歓迎した。

くわ入れを行う萩原社長＝11日、芝山町香山新田地先

県東

皆さまからの情報をお待ちしております。
E-mail c-nippo@chibanippo.co.jp
佐倉支局
TEL FAX
047(405)0755
●佐倉市